

抗 議 文

アメリカ合衆国

ドナルド・トランプ大統領 閣下

在本邦アメリカ合衆国大使館

特命全権大使 ウィリアム・F・ハガティ 閣下

貴国が昨年12月13日にネバダ州の核実験場において臨界前核実験を実施したという報に接し、強い悲しみと憤りを覚えます。

核実験は、いかなる理由があろうとも断じて許すことができません。

臨界前核実験は核爆発を伴わないとはいえ、貴国が今後も核兵器を持ち続ける意思を表したものであり、核兵器廃絶を願う国際世論を無視し、人類史上最初の被爆地であるヒロシマの心を踏みにじるものです。今後一切の核実験を中止するとともに、核兵器廃絶に向け、全力を挙げて取り組まれるよう強く求めます。

本市が策定した「三次市平和非核都市宣言」に基づき、すべての核兵器の保有・核実験の実施に対し三次市民を代表して断固反対し、厳重に抗議します。

平成30（2018）年10月12日

日本国広島県三次市長 増田 和俊